

学校だより **けやき坂**

川西市立けやき坂小学校
校長 齋木 久雄

本来ならば、明日の終業式が終了後に、このお便りをお渡しする予定でしたが、別紙でお知らせしました通り、台風が接近している関係で明日が臨時休校になる可能性が高いため、本日発行致しました。

この1学期間を振り返ると、本当に色々な出来事がありましたが、子ども達の「成長」を実感することができたことをとても嬉しく思います。

1年生は、入学した頃と比べると学校のリズムにも慣れて、本当に小学生らしくなってきました。また、2年生から6年生についても、その成長には本当に目を見張るものがあり、感動する場面にたくさん出会うことができました。

いよいよ18日からは、45日間という長い夏休みに入ります。夏休みの期間は、基本的には学校教育から離れて、家庭・地域の一員として、家族や地域との絆を強めることを最大の目標にしています。有意義な夏休みになるよう宜しくお願い致します。

さて、先日（14日）の5・6校時に、6年生が中央公園の「ごみ拾い」をしてくれました。道徳の授業で公共の為に役立つ事を考え、実行委員会を中心に計画したそうです。とっても暑い中での作業でしたが、みんな一生懸命に頑張っていました。

<子ども達の感想>

- 中央公園に1個もごみを残さないという気持ちで拾いました。たくさん拾えて良かったです。
- いつも遊んでいる時には、ごみなど気になりませんが、しっかり見るとたくさんありました。ごみをこれから捨てないようにします。
- 暑くてとてもしんどかったけど、地域の人のためを思うと頑張れた。たくさんごみを拾えたので楽しさもあった。

この様な取り組みを通して、子ども達の心の中に公共の精神が醸成されつつあることを、とても嬉しく思います。

次に、7月6日の全校朝会での校長講話の概略を記します。

今日は、皆さんに感謝の気持ちを伝える「ありがとう」についてお話をします。

「大きい」の反対語は「小さい」、「速い」の反対語は「遅い」ですね。

それでは、「ありがとう」の反対語は何でしょうか？ 答えは「当たり前」なんです。

「ありがとう」の語源は「有り難い」。つまり、「有る」という事が「難しい」ということなんです。「ある」ということがなかなか無いことなのに「ある」。

それは本当に幸せなことだから、ああ「ありがとう」となります。

だから「あるのが当然、」と思っていることは、「有り難い」の正反対。「ありがとう」の反対は「当たり前」ということです。

親が食事を作ってくれるのは「当たり前」と思っている人は、「ありがとう」という気持ちがないし、自分が困っている時に誰かが助けてくれるのが「当たり前」と思っていたら「ありがとう」とは言えません。

しかし、そのどちらも「当たり前」ではありません。もう一度「有り難いことだ」という目で見直してみてください。「有り難い」はずなのに「ある」ということに気づけば、自然に感謝の気持ちが湧いてくる事が多いはずです。

子どもに限らず私達大人も、普段の生活の中で「当たり前」だと思って「感謝の気持ち」を忘れている事が沢山あるように思います。水道・ガス・電気を始め、衣食住のすべてにおいて、もう一度「有り難いことだ」という目で見直してみる必要があるように思います。

<保護者の皆様へのごお願い>

以前から度々お願いしております通り、子ども達の登下校の安全を見守って頂いている学校安全協力員の人員が不足しています。特に下校時は、学年によって下校時刻が異なるため、多くの人員が必要となります。

つきましては、従来の募集方法を見直し、グループ単位での応募を受け付けたいと思います。お友達同士のグループで登録して頂き、担当する日時・場所の見守りをグループのメンバーが交代で行うことにより、個人の負担の軽減を図りたいと考えています。2学期の最初に、具体的な日時・場所等を記載した応募用紙を配布する予定ですので、お誘い合わせて、ぜひご応募下さいますようお願い致します。

また、夏休みには、納涼祭等の地域の行事があります。ご家族揃って参加して、地域との絆も深めて頂きますようお願い致します。